

2008年10月1日

報道関係各位

株式会社オリエンタルランド

シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京

『ZED (ゼッド)』

東京ディズニーリゾート®に本日オープン

本日(10月1日)日本初のシルク・ドゥ・ソレイユの常設劇場「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」が東京ディズニーリゾートに加わり、オリジナル演目『ZED (ゼッド)』が開幕しました。

午後4時45分から行われたオープニングセレモニーでは、弊社代表取締役会長(兼)CEO 加賀見 俊夫、シルク・ドゥ・ソレイユ 社長兼最高経営責任者(CEO) ダニエル・ラマー、そして、ウォルト・ディズニー・アトラクションズ株式会社 社長 ニック・フランクリンが各社を代表し、ご挨拶をさせていただきました。

続く、加賀見 俊夫によるオープン宣言では、当劇場でのみ公演される演目『ZED (ゼッド)』の主人公である「Zed」をはじめとした出演者たちが登場し、『シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京』とオリジナル演目『ZED (ゼッド)』の幕開けを盛大に祝いました。

25周年を迎えた東京ディズニーリゾートにて開幕する『ZED (ゼッド)』は、ここを訪れる多くのゲストに新たな感動を提供し続けてまいります。

シルク・ドゥ・ソレイユ『ZED』について

[ショーコンセプト] 人生は冒険。そこに、^{うた}詩が生まれる。

彼の名は、Zed (ゼッド)。この主人公が旅するのは、天と地のまったく異なる2つの世界。旅の途中、彼は大いなる女神、スフィンクス、サテュロスといった、色々な登場人物*に出会います。彼が出会った世界とそこに息づく生命たちは、どれもバイタリティに満ち溢れ、Zed (ゼッド)に様々なインスピレーションを与えていきます。これらの経験を通して彼自身が成長すると同時に、彼を通して天と地という異なる2つの世界がひとつに結ばれようとしています。

ショーを見る人すべてが、Zed (ゼッド)の旅を通じて人生の本質に触れることができるでしょう。

*本ショーの登場人物の多くは、フランソワ・ジラルールにより、タロットカードにインスパイヤーされて、生み出されました

一般の方のお問い合わせ先は、以下の通りご紹介くださいますようお願いいたします。

シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京 インフォメーションデスク (0570-02-8777)

受付時間 AM10:00 ~ PM5:00 (年末年始を除く)

各社代表者コメント（要約）

< 株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長（兼）CEO 加賀見 俊夫 >

本日、東京ディズニーリゾートに、日本で初めてのシルク・ドゥ・ソレイユの常設劇場「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」がオープンし、世界で唯一、ここでしかご覧いただくことのできないオリジナル演目「ZED（ゼッド）」が開幕いたします。

これまでの東京ディズニーリゾートにはない、新しい魅力を持つ劇場は、リゾート全体に相乗効果をもたらし、より多くのゲストが東京ディズニーリゾートに足を運んでくださることと確信しております。

< シルク・ドゥ・ソレイユ 社長兼最高経営責任者（CEO）ダニエル・ラマー >

ここ日本で、シルク・ドゥ・ソレイユの永久の棲家を見つけることができ、とても満足しています。

宝石のように美しいシアターは、私たちとオリエンタルランドとの強固なパートナーシップの証です。

またこれは、オランダ、そしてここ東京でも長きに渡って特別な関係を持ち続けているディズニーとのパートナーシップの証でもあります。

今宵、この新しい宝石（劇場）の心と魂は、「ZED（ゼッド）」というショーになります。

私たちの、心からの感謝と夢の現れが、この「ZED（ゼッド）」なのです。

< ウォルト・ディズニー・アトラクションズ株式会社 社長 ニック・フランクリン >

ウォルト・ディズニー社を代表し、シルク・ドゥ・ソレイユならびにオリエンタルランドと新たなパートナーシップを築くことができ、大変嬉しく思っています。

ウォルト・ディズニー・ワールド®・リゾート内のシルク・ドゥ・ソレイユ常設劇場で上演されている「ラ・ヌーバ」はオープン以来ずっと、ゲストから高い評価を得ています。

「ラ・ヌーバ」同様、「ZED（ゼッド）」も東京ディズニーリゾートを訪れるゲストを驚かせ、魅了し続けることでしょう。

以上